

2019年3月12日

株式会社電通

代表取締役社長執行役員 山本 敏博

(東証第1部 証券コード: 4324)

電通とシンカ社、クライミング世界選手権を含む国際スポーツクライミング連盟 (IFSC) 主催大会の2019年～2023年までの全世界独占マーケティング権および一部放映権を共同取得

株式会社電通（本社：東京都港区、代表取締役社長執行役員：山本 敏博）と株式会社シンカ※1（所在地：東京都渋谷区、代表取締役：スー・ジュン）は、国際スポーツクライミング連盟（以下「IFSC」）※2から、2019年から2023年の間に開催されるIFSC主催大会の全世界におけるマーケティング権および一部放映権（日本、アジア（中国および中東を除く）、オセアニア、中南米、カリブ）を共同取得しました。

スポーツクライミング※3は2020年の東京オリンピック・パラリンピックで新たに選ばれた追加競技であり、今後当社、シンカ社とIFSCはスポーツクライミングの更なる世界的な普及を目指し、マーケティングプログラムを開発していく予定です。

※1 株式会社シンカ (<http://www.synca.jp/>)

2013年からIFSCの日本における放送権のセールspartnerであり、2018年から共同で権利を取得。

※2 国際スポーツクライミング連盟 (IFSC: International Federation of Sport Climbing)

2007年設立された、世界のスポーツクライミングに関する最高決定機関。イタリアのMarco Maria Scolari氏が会長を務める。

※3 スポーツクライミング

ボルダリング・リード・スピードの3種目があり、2020年東京オリンピック・パラリンピックではこれら3つを束ねたコンバインドが競技として選ばれている。

以 上